

令和5年10月13日

第170回 市町村職員を対象とするセミナー

「チームオレンジの効果的実施に関するセミナー～認知症の人と本当に「出会えて」ますか？～」



羽後町における新たな移動支援 ～地域でつくる助け合い活動～



秋田県 羽後町

地域包括支援センター

主任介護支援専門員 沼沢 満

秋田県羽後町



面積は230,78km²



緑と踊りと雪の町

羽後町



人口 13,539人
(前年同月比-299)

高齢者数 5,588人

高齢化率 41.3%

2023年4月30日現在



秋田県羽後町について



	平成29年	平成30年	～	令和4年	令和5年
総人口(人)	15,549	14,335		13,838	13,539
高齢者人口 (65歳以上)	5,500	5,531		5,594	5,588
構成比(%)	35.4	38.6		40.4	41.3



「西馬音内盆踊り」が ユネスコ無形文化遺産へ登録





羽後町の認知症施策について

適切な 支え

- 家族介護者教室やケアスタッフ研修など在宅の介護を支えるための研修 H18～
- キャラバン・ラジオ屋など地域のカ・支える力の強化
(うごまちよりそいネットワーク模擬訓練、サロン活動など) H22～
- 連携調整支援機関としての地域包括支援センター
- 多職種連携専門職チームの養成(H28～認知症ライフサポート研修)

認知症 の 理解

- 認知症サポーター養成研修 H20～
- キャラバン・メイト養成研修 H21～
- 認知症サポーターステップアップ研修 H29～
- 地域資源マップ作成 H22～ ケアパス作成 H29～
- 当事者も参加する活動への支援
- 認知症カフェでゆるやかな学びの場の提供 H28～



羽後町の認知症施策について

羽後町認知症にやさしいネットワーク形成事業 H20～
認知症地域支援体制構築等推進事業モデル地域 H22～
認知症地域支援推進員 H28～
認知症初期集中支援チーム 平成29年～

認知症予防

- 若竹元気くらぶ H20～
- うご脳若返り教室 H22～

早期発見・早期治療

- ファイブ・コグ検査 H20～
- もの忘れチェック機器 H21～
- 早期の段階から診断・相談・対応へ

悪化防止

- 学習療法 H22～
- 認知症ケアに関する研修会の実施 H21～



羽後町の認知症地域支援推進員について

◎羽後町の認知症地域支援推進員は4名

※地域包括支援センター職員が**3名**
他担当課へ異動となった

元地域包括支援センター職員の保健師が**1名**

異動しても
連携中!!!



羽後町の認知症施策について

①普及啓発・本人発信支援

②予防

③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援



羽後町の認知症施策について

①普及啓発・本人発信支援

②予防

【本日の活動・取組の報告】

認知症の方、ご本人の声を施策に反映させるしくみづくり!!!

③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援



羽後町における新たな移動支援



町の食堂で認知症カフェ ～おさんぽオレンジかふえ～

家族から「免許をそろそろ返納して」、
と言われている。
まだ運転できると思うけど、テレビで
高齢者の交通事故の報道も多いし…



年取ったから「免許返納」とかって
つらい話よね。
電車もバスもないし…
自動車学校でなんか練習会とか
やってないのかな？





「生活の足である車を そう簡単にあきらめられないのです！」

自動車学校に気軽に
運転の練習とかできるのか
聞いてきますね～

自動車学校の職員で
認知症サポーター養成講座受講したけど、
その先は？



推進員



うごまちハッピー運転教室 & Dカフェ 令和元年度スタート



高齢者の運転免許返納の客観的ものさしとして、
羽後自動車学校、羽後町交通安全協会、
羽後町地域包括支援センターの事業が
実現されたことで、【新たな認知症カフェ】のかたちを
つくることができた

参加費は1回3000円



「うごまちハッピー運転教室 & Dカフェ」の主な内容

Dカフェ タイム

- コーヒーを飲みながら、まずは「視力検査」と「もの忘れチェック」、そして認知症を知る時間
- 高齢者の運転特性について学ぶ時間



実車訓練

- 教習所内のコースを使用し、**実際に運転。**
(認知症サポーターの教習所指導員からの客観的な評価、助言)



認知症カフェ 参加者の声



- ・参加費3000円は高いと思う。年金暮らしだから。(80代女性)
- ・車庫入れがたいへんだった。(80代女性)
- ・自動車学校の車は自分の車より大きいから運転しづらい。運転の仕方を見てもらえたのはよかった。(80代女性)
- ・運転を自動車学校の先生にみてもらって、チェックしてもらったのでこの資料を家族に見せたい。(80代男性)
- ・運転はしばらくやっていなかったのもとても不安だった。視力が悪くなっていたので眼鏡をなおさないと。同じ年代のひとたちと一緒に練習できるのは良い。(80代男性)
- ・今年更新するか迷っていたけど、あと一回はできるかな。(80代男性)
- ・自分の運転のクセや危ないところを教えてもらった。息子にも「運転はあぶない」と言われているのでわかっていたけど。(80代女性)
- ・運転するな、と家族に言われている。今日、自分の運転をみてもらった。危ないところなどを先生に具体的に教えてもらった。更新はしないと思う。(80代男性)



うごまちハッピー運転教室 & Dカフェとして



「運転できる、車がある」

買い物、通院、知人への訪問など

さまざまな社会活動に参加するために大切な手段



「私たちができることは2つ」

①認知症の方や明らかに運転に問題がある方は

免許返納へのアシストを速やかに。

②そうでない方には安全に運転できる期間を

できるだけ伸ばしていくお手伝いを！



もの忘れチェック (物忘れ相談プログラム)

12点以下の人

- ①70代女性 認知症予防活動継続
- ②80代男性 介護保険申請 要介護1
- ③80代男性 聴力・視力にも問題あり
介護保険申請へ
- ④70代女性 家族に報告
- ⑤80代男性 認知症カフェ

※13点だったけど・・・

- ⑥70代女性 介護保険申請 要介護1 通所サービス

もの忘れ相談プログラム 相談日 平成26年03月05日

ID番号	0000000004	氏名	テスト タロウ	性別	男
施設番号	0000000001	生年月日	大正11年04月01日(91才)		

得点結果表						
項目	言葉の即時再認	日時の見当識	言葉の遅延再認	図形認識1	図形認識2	合計
評点	3	4	6	1	1	15
得点	0	0	2	0	0	2



アドバイス
物忘れが始まっている可能性が疑われます。

得点結果表の解説	
1. 言葉の即時再認	今聞いたことを覚えていられるかを尋ねる問題。
2. 日時の見当識	年、月、日、曜日などの時間が分かっているかを尋ねる問題。 アルツハイマー型認知症では、日時の見当識がよく障害される。
3. 言葉の遅延再認	さっき聞いたことを覚えていられるかを尋ねる問題。 アルツハイマー型認知症などの認知症では、この言葉の遅延再認がしばしば障害される。
4. 図形認識1	立方体を用いて、視空間認知機能を診る問題。頭頂葉の障害を反映しており、アルツハイマー型認知症の発見に役立つ検査。
5. 図形認識2	三角柱を用いており、立方体よりもむずかしい視空間認知機能を診る問題。
合計得点	13点以上については、現時点では物忘れは心配ありません。 12点以下については、物忘れが始まっている可能性が疑われます。

定期的に「もの忘れ相談プログラム」と対話しましょう
アルツハイマー型認知症は、いつはじまったのか明らかでなく、症状が緩やかに進行していきます。その為には定期的にこの「もの忘れ相談プログラム」と対話しながらテストをうけましょう。いまでは、治療薬の研究も進歩しています。大切なことは、「早めに気付いて医師に相談する事」が何より大切です。
監修 鳥取大学医学部教授 浦上克典



免許を返納したら・・・



免許を返納したら・・・

- 介護保険で認定され、買い物などはヘルパーを利用していく
- ほかの認知症カフェで参加者同士のつながりで買い物のサポートをうける
- 別世帯の家族に車をだしてもらう
- タクシーつかってでかける



介護保険の認定にならない
親族が近くにいない
経済的に毎回タクシーは無理

そんな声にはどうしたら？

助け合いの地域づくりフォーラムinうご さわやか福祉財団 堀田力会長 による講演



介護保険広報誌とびら 特別号

助け合いの地域づくり

フォーラム in うご

令和元年
12/22日

13:30~16:20 (開場13:00)

会場 羽後町文化交流施設 美里音

入場無料
どなたでも参加
できます!

基調講演 「あなたが主役」 「助け合いの地域づくり」

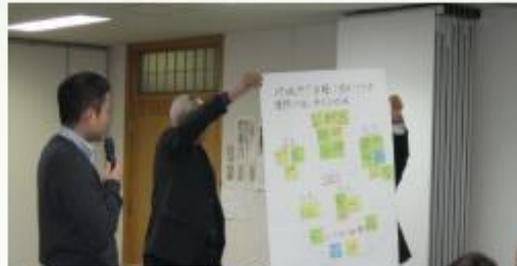
公益財団法人
さわやか福祉財団 会長
ほつたつとむ
堀田力

パネルディスカッション 「みんなで進めよう 助け合いの地域づくり」
～町内外の支え合い・助け合い活動の実践報告～

◆パネリスト
サロンかっち (仙臺) 村上 興子氏
和町地区協議会 代表 金 一治氏
NPO法人あけぼの会 (大曲町) 代表理事 加藤 由紀子氏
羽後町生活支援コーディネーター 小林 諭史氏

◆コーディネーター 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力

【問い合わせ・申し込み先】
羽後町役場 福祉係 高齢者福祉担当 電話 0183-62-2111 内線124 FAX 62-2120
社会福祉法人羽後町社会福祉協議会 電話 0183-62-5312 FAX 62-5314
【主催】 羽後町 / 社会福祉法人羽後町社会福祉協議会 【共催】 公益財団法人さわやか福祉財団



目指す地域像

一人ひとりが
お互い様の気持ちで支え合い
共に生きていくまち



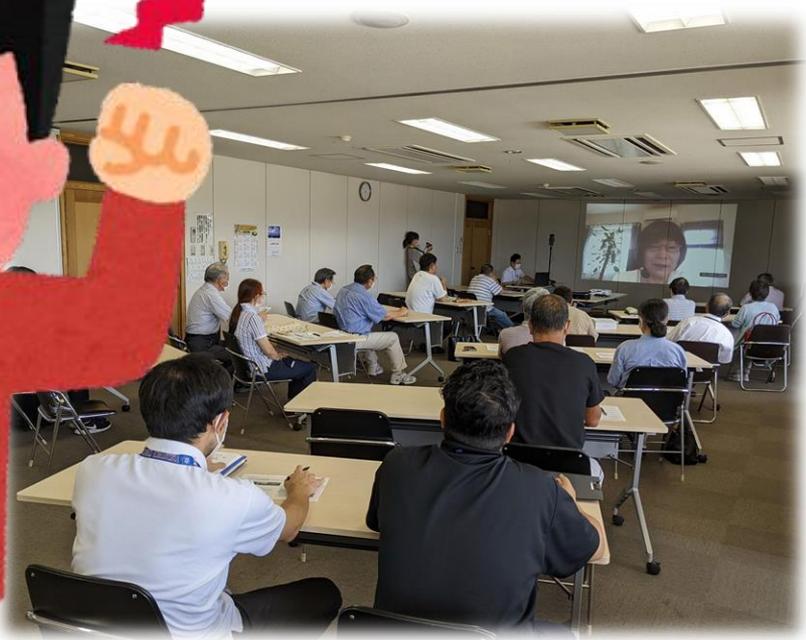


「地域でつくる 高齢者の移動・外出支援」 令和4年8月24日開催

講師 NPO法人 全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎 民子 氏



いつまで同じことをやっている！ (ある住民からの声)





活動してみたいという気持ちが高まっているが一歩ふみだせない

○高齢者の方を車にのせて謝礼をもらうのは

白タク行為かも

○3年も住民同士で話し合いと研修を

繰り返してなにかうまれたのか

○役場とか生活支援コーディネーターが

ルールを決めてくれればいいのに

○いろいろ難しい手続きがあるなら面倒だな

令和元年から
モヤモヤしている
はっきりしたいのに
活動したいのに！





一歩すすむために・・・

有償ボランティアとして、移動支援に関して、
認知症地域支援推進員、地域包括支援センターの職員、
生活支援コーディネーターへの提案

「高齢者を買い物のために車に乗せてお金をもらうのは
白タク行為。しかし、今回の移動支援の研修で、

荷物を持ってあげると買い物支援であり大丈夫

(白タク行為ではない)だと学んだ。

まずは我々でやってみてはどうか」



生活支援コーディネーターの思い

- 基準を決めて公平平等に行う事業とは異なり、住民が自発的に助け合いにかかわっていく仕組みなので、平準化が厳しい
- 令和元年度から活動はしているが、新型コロナウイルスの感染拡大状況もあって、地域の方々と集まる機会が制限されて助け合いの創出までたどりつけなかった
- 助け合いの創出のために、まずは自分たち(事務局側)から動くのは打開策になる
- 買い物支援を行う際の車は社会福祉協議会でだせる。
あとは運転と買い物のサポートが必要



地域でつくる 高齢者の移動・外出支援 うごおたすけ隊発進！





高齢者の方、地域の方の移動・外出支援

買い物移動支援 【有償ボランティア】

高齢者の方や地域の方が、気軽に、楽しく、お買い物に
お出かけされることをサポートいたします。

ご利用日：土曜日
(朝間は助けてくれる方、2名)
ご利用料金：500円

Who will do it?
誰がやるの?

All Together!!! みんな一緒に!!!



お問い合わせはこちら
TEL.0183-62-5313
(沼津町社会福祉協議会)
※受付時間：9時~16時 (月~金曜日)

UGO

会員証
MEMBER'S CARD



うごおたすけ隊
No.0001

UGO

おなまえ 沼沢 満



地域でつくる 高齢者の方々の移動・外出支援





地域でつくる 高齢者の方々の移動・外出支援





地域の助けてほしい方
地域の助けてくれる方



『おたすけ隊募集中!!!!!!』





『おたすけ隊会員 決起集会開催いたしました!!!』





『おたすけ隊会員 決起集会開催いたしました!!!』





『うごおたすけ隊活動記録』①



サロン!!!?

『うごおたすけ隊活動記録』② 定期ミーティングの様子



『うごおたすけ隊活動記録』③ 広報活動



JAうご女性部さま

地域のサロンへ



『うごおたすけ隊活動記録』④

～ご本人の声を実現～



『うごおたすけ隊活動記録』④

～ご本人の声を実現～



ご清聴ありがとうございました

